

全国学力・学習状況調査について

H24年度調査 中学校数学B③ から

(2) 美咲さんは、もしこの二人がもう1回ずつ飛んだとしたら、どちらの選手がより遠くへ飛びそうかを、二人のヒストグラムをもとに考えてみたいと思いました。

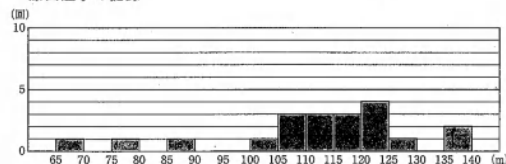
二人のヒストグラムを比較して、そこから分かる特徴をもとに、次の1回でより遠くへ飛びそうな選手を一人選ぶとすると、あなたならどちらの選手を選びますか。下のア、イの中からどちらか一方の選手を選びなさい。また、その選手を選んだ理由を、二人のヒストグラムの特徴を比較して説明しなさい。どちらの選手を選んで説明してもかまいません。

ア 原田選手

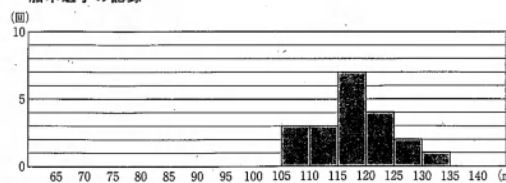
イ 船木選手



原田選手の記録



船木選手の記録



先般、実施された全国学力・学習状況調査の中学校3年生数学の問題から、特徴的な問題を1問選んでみました。この問題は、答えが一つではなく、どちらの選手を選んでもヒストグラムの特徴を比較して正しく説明してあれば正答となります。

それぞれの校種・教科等の問題を見て、どのような感想をもたれたでしょうか。

全国学力・学習状況調査の目的は、調査結果を学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることです。

義務教育課では、調査実施後、市町教育委員会を通じて正答例や採点留意事項、集計用の電子ファイル等を提供しています。国立教育政策研究所(<http://www.nier.go.jp/>)の「解説資料」なども参考にして、出来るだけ早い時期に、学力や学習状況の実態把握や課題の明確化、それに基づく学力向上プランの改善、児童生徒への指導の充実等に努めていただくようお願いします。

新しい4つの重点取組事項

各学校では、新年度がスタートし、これまでの取組の成果や課題を検証するとともに、研修体制等を整え、様々な取組を始められていることと思います。

これまでの取組の成果と課題

県教委としても学力向上に向けて、市町教委等と連携しながら、これまで4つの重点的な取組の柱を立てて、各学校の学力向上の取組の支援に努めてきました。その中で、これまで成果を上げている学校の取組を分析すると、次のような改善事項の徹底が、課題解決につながっていることがわかりました。

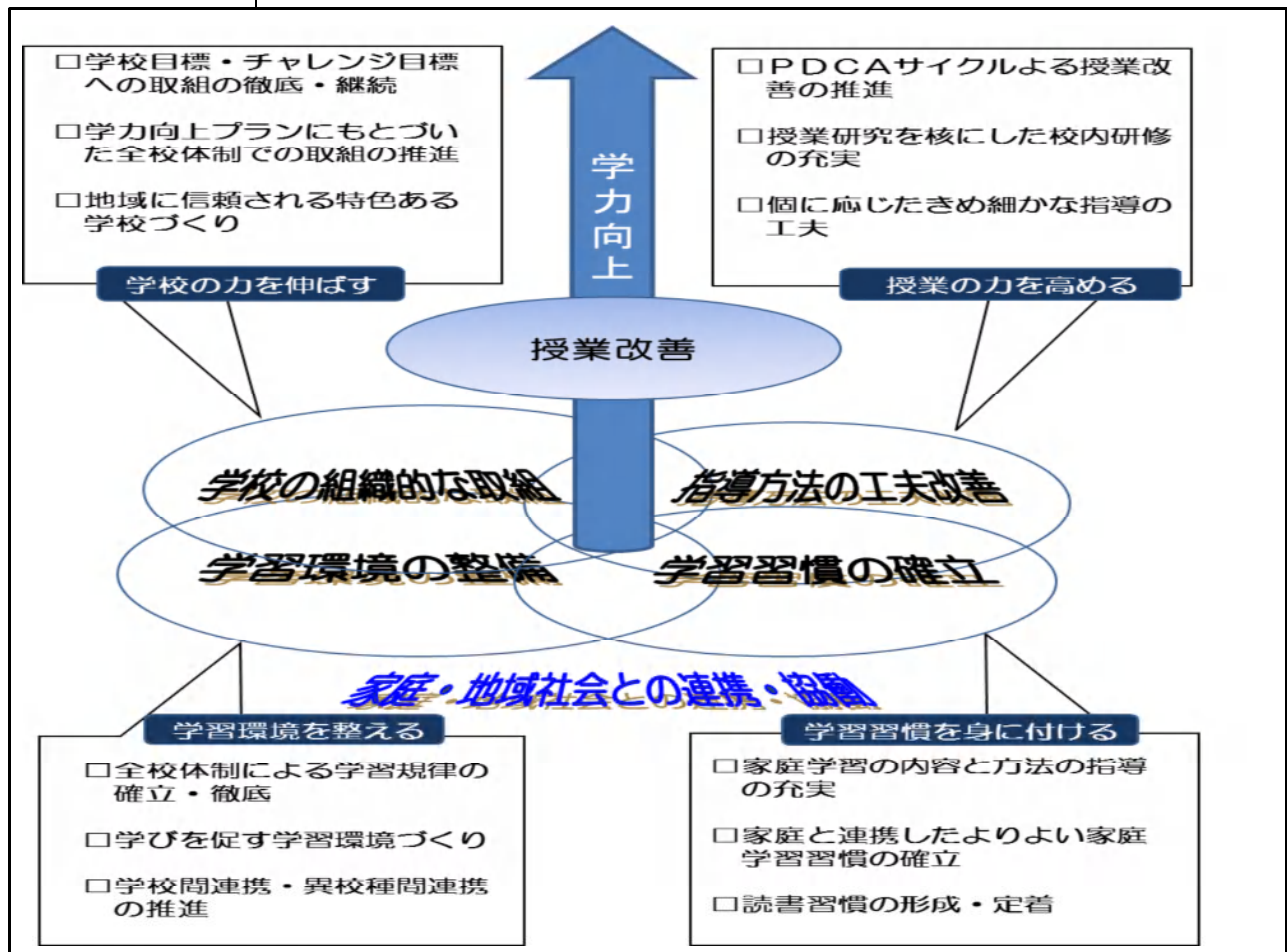
成果を上げている学校の取組



- 学習規律の徹底など、全教職員が共通理解のもとに教育活動を行っていること
- 職員研修の活性化、PTAや地域との連携を進めていること
- 少人数指導など、個に応じたきめ細かな指導方法を工夫していること
- 「考えを引き出したり思考を深めたりする指導」など活用型の学習を進めていること
- 読書好きな子どもを育てるなど、児童生徒の意欲を高める指導を行っていること
- 家庭学習の課題を明確に示すなど、よりよい学習習慣の形成に努めていること など

4つの重点取組事項

今年度、これまでの課題や成果を上げている学校の取組事例などを踏まえ、新たに下の図に示すような「学校の組織的な取組」「指導方法の工夫改善」「学習環境の整備」「学習習慣の確立」の4つを重点取組事項とした授業改善の取組を進めていくこととしました。



これらの視点をもとに、今後も児童生徒一人ひとりの、そして学級全体の、さらには学校全体の学力向上をめざした取組を進めていきましょう。